

伯江高等学校 令和3年度 教科「数学」 科目「数学Ⅰ」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学Ⅰ 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学Ⅰ』(数研出版)

使用副教材:『サクシードⅠ+A』(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	第1章 数と式 第1節 式の計算 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び 因数分解の公式の理解 を深め、式を多面的に みたり目的に応じて式 を適切に変形した りすること。	・式の置き換えや積の順序を工夫することの有用性を理解し、複雑な式を展開することができる	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・式の置き換えやひとつの文字に着目することの有用性を理解し、複雑式を因数分解することができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	第2節 実数 数を実数まで拡張する 意義を理解し、簡単な 無理数の四則計算 をすること。	・整数部分、小数部分の定義を把握し、無理数の整数部分、小数部分を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・循環小数を分数に直すことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		対称式と基本対称式に関する公式を用いて、与えられた式の値を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

伯江高等学校 令和3年度 教科「数学」 科目「数学 I」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学 I 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学 I』(数研出版)

使用副教材:『サクシード I +A』(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
5 月	第2節 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。	・二重根号をはずし、簡単な式になおすことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・絶対値の定義を把握し、絶対値の記号の意味を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・置き換えなどを利用して、複雑な無理数の計算ができる。複雑な式の分母の有理化ができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	第3節 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。	・一次不等式や連立不等式を解くことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・絶対値を含む簡単な一次不等式を解くことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

伯江高等学校 令和3年度 教科「数学」 科目「数学 I」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学 I 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学 I』(数研出版)

使用副教材:『サクシード I +A』(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
6 月	第2章 集合と命題 集合と命題に関する 基本的な概念を理解 し、それを事象の考察 に活用すること。	・命題、条件の否定、命題の逆・裏・対偶の定義を把握し、集合を用いて命題の真偽が判定できる。また、二つの条件について、必要条件、十分条件の判断ができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・命題の対偶と元の命題の真偽が一致することを理解し、命題の対偶による証明ができる。また、背理法が「矛盾を導き出すことによる証明方法であることを理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	第3章 2次関数 第1節 二次関数とその グラフ 事象から二次関数で 表される関係を見い だすこと。また、二次 関数のグラフの特徴 について理解するこ と。	・2次関数のグラフの概形をかくことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・2次式を平方完成し、2次関数の軸の方程式、頂点の座標を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		・グラフの平行移動、対称移動を理解し、それぞれ移動して得られる放物線の方程式を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

粕江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学Ⅰ」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学Ⅰ 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学Ⅰ』(数研出版)

使用副教材:『サクシードⅠ+A』(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
7 月		・2次関数の式について理解を深め、与えられた条件を満たす2次関数の式を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学Ⅰ」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学Ⅰ 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学Ⅰ』(数研出版)

使用副教材:『サクシードⅠ+A』(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 月				

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」 科目「数学Ⅰ」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学Ⅰ 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学Ⅰ』(数研出版)

使用副教材:『サクシードⅠ+A』(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
9 月	第3章 2次関数 二次関数の値の 変化 (ア)二次関数の最 大・最小 二次関数の値の 変化について、グラフ を用いて考察したり最 大値や最小値を求め たりすること。	<ul style="list-style-type: none"> 定義域に文字を含む2次関数の最大値、最小値を文字で表現することができる。 軸に文字を含む2次関数の最大値、最小値を文字で表現することができる。 簡単な2次関数の文章問題を解くことができる。 	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		<ul style="list-style-type: none"> 解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。 	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
1 0	(イ)二次方程式・二 次不等式 二次方程式の解 と二次関数のグラフと の関係について理解 するとともに、数量の 関係を二次不等式で 表し二次関数のグラフ を利用してその解を 求めること。	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の解の個数と2次関数と軸の共有点の個数との関係を理解し、判別式を使うことができる。 	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		<ul style="list-style-type: none"> 2次関数のグラフとx 軸との共有点が1個または0個である場合も含めて、2次不等式を解くことができる。 	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
		<ul style="list-style-type: none"> 簡単な2次不等式の応用問題を解くことができる。 	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

伯江高等学校 令和3年度 教科「数学」 科目「数学 I」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学 I 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学 I』(数研出版)

使用副教材:『サクシード I +A』(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8月 第4章 図形と計量 第1節 三角比 (ア)鋭角の三角比 鋭角の三角比の 意味と相互関係につ いて理解すること。	・鋭角の三角比の定義を把握し、身近なものの長さや角度を求めることができる。 30° 、 45° 、 60° の三角比を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	・三角比の相互関係の式を活用することができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	・三角比の $90^\circ - A$ に関する公式を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
(イ)鈍角の三角比 三角比を鈍角ま で拡張する意義を理 解し、鋭角の三角比 の値を用いて鈍角の 三角比の値を求める こと。	・角度の拡張の意味を理解し、 0° 、 30° 、 45° 、 60° 、 90° 、 120° 、 135° 、 150° 、 180° の三角比の値を求められる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	・座標平面を利用して 0° から 180° までの範囲で三角方程式を解くことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

伯江高等学校 令和3年度 教科「数学」 科目「数学 I」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学 I 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学 I』(数研出版)

使用副教材:『サクシード I +A』(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
1 1 月	・ 三角比の $180^\circ - A$ に関する公式を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3	
	第2節 三角形への 応用 三角比を平面図形や 空間図形の考察に活 用すること。	・ 正弦定理、余弦定理を理解し、状況に応じて使い分けることができる。また、 辺の長さや角の大きさを求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	・ 三角形の面積を求める公式を理解し活用することができる。円に内接する四角 形の面積を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3	
	・ 内接円の半径と三角形の面積との関係を理解し、内接円の半径を求めることが できる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3	
	・ 三角形に着目することにより、三角比が空間図形に応用できることを理解す る。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3	

粕江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学Ⅰ」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学Ⅰ 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学Ⅰ』(数研出版)

使用副教材:『サクシードⅠ+A』(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
12 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形に着目することにより、三角比が空間図形に応用できることを理解する。 	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」 科目「数学Ⅰ」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学Ⅰ 単位数:3 対象:第1学年1組～8組

教科担当者:1組杉木 2組坂本 3組長内 4組坂本 5組坂本 6組長内 7組坂本 8組杉木

使用教科書:『数学Ⅰ』(数研出版)

使用副教材:『サクシードⅠ+A』(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位範囲	把握できるようにする。 (1) データの散らばり 統計の用語の意味やその扱いについて理解するとともに、目的に応じデータを収集・整理し、四分位数、四分位範囲、分散及び標準偏差などを利用してデータの傾向を的確にとらえ、説明することができるようにする。		
2 月	4. 分散と標準偏差 5. データの相関	(2) データの相関 散布図及び相関係数の意味を理解し、それらを利用してデータの相関を的確にとらえ説明することができるようにする。'		
3 月	総復習			

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	1章 場合の数と確率 0節 集合 1 集合	集合と要素, 集合の表し方, 部分集合について学び, 図表示などを用いて集合の包含関係, 共通部分と和集合, 空集合について理解する。また, 集合に関する記号の意味を理解し, 適切に使うことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	2 補集合とド・モルガンの法則	補集合, ド・モルガンの法則について, 図表示による包含関係と関連づけて理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	1
	1節 場合の数 1 集合の要素の個数	図表示などを用いて有限集合の和集合の要素の個数を, 共通部分がない場合とある場合に分けて求めることを学び, 与えられた場面で応用できる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
5 月	2 樹形図と場合の数	和の法則, 積の法則が成り立つのはどのような場面なのかを理解し, 樹形図も利用しながらその総数を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	1
	3 順列	順列の意味を理解し, その総数 nPr や階乗の計算ができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	1
	3 順列	順列の意味を理解し, その総数 nPr や階乗の計算ができる。 また, 円順列や重複順列について学習し, 順列を使ったさまざまな考え方ができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
6 月	4 組合せ	組合せの意味を理解し, その総数 nCr を, 順列との関係によって求める筋道を示し, 一般の場合の組合せの総数を求める公式を導くことができる。また, 組合せの考え方をういた応用問題を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	2節 確率とその基本性質 1 事象と確率	試行と事象, 事象の確率について学び, 確率の意味を知り, 不確実な事象を数量的にとらえることの有用性を認識する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	2 確率の基本性質	積事象・和事象, 排反事象, 確率の基本性質, 確率の加法定理, 和事象の確率, 余事象とその確率について, 集合と関連づけながら学び, 数学のよさに触れる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
	2 確率の基本性質	積事象・和事象, 排反事象, 確率の基本性質, 確率の加法定理, 和事象の確率, 余事象とその確率について, 集合と関連づけながら学び, 数学のよさに触れる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
7 月	3節 いろいろな確率 1 独立な試行の確率	独立な試行の確率について, 具体例を通してその意味を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2

粕江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本(印))(2組・4組・6組:平岡(印))(3組・5組・7組:森(印))

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 月				

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本[Ⓔ])(2組・4組・6組:平岡[Ⓔ])(3組・5組・7組:森[Ⓔ])

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
9 月	2 反復試行の確率	独立な試行の典型的な例であり, 最も重要な例でもある反復試行の確率を理解する。このとき, 組合せを用いることを納得する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	3 条件つき確率	条件つき確率と確率の乗法定理の学習を通して, 具体的な事象を数学的に考察し, 処理する力を伸ばす。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	2章 整数の性質 1節 約数と倍数 1 約数と倍数	'整数に関する約数や倍数の基本的な用語の意味を理解し, 倍数を見分けたり, 素因数分解によって約数を求めたりすることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組~8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
10 月	2 最大公約数と最小公倍数	素因数分解を用いて最大公約数や最小公倍数を求めることができるとともに, 最大公約数と最小公倍数の関係を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	4
	2節 ユークリッドの互除法と 不定方程式 1 除法の性質と整数の分類	整数の除法の性質を理解するとともに, 割り算の余りによる整数の分類を利用し, 整数の性質を考察する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	2 ユークリッドの互除法	整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し, それを用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本[Ⓔ])(2組・4組・6組:平岡[Ⓔ])(3組・5組・7組:森[Ⓔ])

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
11 月	3 2元1次不定方程式	2元1次不定方程式の解の意味を理解し, 未知数の係数が互いに素となる簡単な場合についてユークリッドの互除法を活用するなどして, 解を求めることができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	3節 整数の性質の活用 1 記数法	身近に使用している10進法をもとに数の仕組みを理解し, 2進法や3進法などを用いて数を自由に表記できる。また, 2進法における加法・減法・乗法などの計算を, 10進法と同じように扱うことができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	2 小数と分数	分数が有限小数または循環小数で表される仕組みを理解し, 整数の様々な事象の考察に活用できる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	1
	3章 図形の性質 1節 三角形の性質 1 三角形と比	中学校で学んだ三角形と比の定理と, その特別な場合としての中点連結定理を復習し, 基本性質をもとに徐々に証明のしかたを身につける。また, 三角形の内角の二等分線と比, 外角の二等分線と比の定理を理解し, それらの逆も成り立つことを理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
12 月	2 三角形の重心・外心・垂心・内心	三角形の重心・外心・垂心・内心の存在とその証明を理解する。また、外接円, 内接円との関係を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	3 三角形の比の定理	チェバの定理とその逆, メネラウスの定理とその逆を理解し, 活用できる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3
	2節 円の性質 1 円周角の定理	円の基本性質と円周角の定理やその特別な場合である直径と円周角の定理, さらに, 円周角の定理の逆が成り立つことなどの復習を通して, 論理的な思考力を養う。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	1

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	2 円に内接する四角形	円に内接する四角形の定理と四角形の内接条件の定理を理解し、活用しながら図形に対する直観力・洞察力を養うとともに、図形の性質を論理的に考察し、的確に表現する能力を身につける。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	3 接線と弦のつくる角	円と接線に関する基本的な性質を復習する。さらに、接線と弦のつくる角の定理の証明をさまざまな方法で考え、図形に対する洞察力を豊かにする。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	4 方べきの定理	円と点の位置関係が異なっても方べきの定理が成り立つことを理解し、図形に対する能力をさらに伸ばす。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	5 2つの円	2つの円の位置関係を理解し、そこに現れる図形の性質について証明し、図形に対する見方を豊かにする。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	1

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 月	3節 作図 1 基本的な作図	中学校において学習した基本的な作図や, 平行四辺形の成立条件や三角形と比の性質をもとに, 平行な直線や線分の内分点・外分点などを作図できる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	2 長さの作図	長さ1の大きさの線分が与えられたとき, 2数の積や商および平方根などを, 図形の性質を利用して作図で表現できる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	2
	4節 空間図形 1 直線と平面	中学校において学習した空間における直線や平面の位置関係を踏まえ, 三垂線の定理などを扱い, 図形の性質を論理的に考察することができる。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	3

狛江高等学校 令和3年度 教科「数学」科目「数学A」年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:(2) 対象:(第1学年1組～8組)

教科担当者:(1組・8組:坂本^印)(2組・4組・6組:平岡^印)(3組・5組・7組:森^印)

使用教科書: 数学A(数研出版)

使用教材: サクシード(数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
3 月	2 多面体	オイラーの多面体定理などの多面体の基本的な性質を理解する。	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	1
	総合演習	総合演習	学習活動への取り組み 課題、提出物の状況、内容 定期考査	